

黒潮町スポーツ合宿

町では、1月中旬から3月中旬にかけて、スポーツ合宿が行われています。それぞれのチームの選手や監督からコメントをいただきました。

◆ラインメール青森FC 1月27日(月)～2月28日(金)

廣末陸選手「約1カ月の期間で、体のコンディション作りをして、3月の開幕に向けて準備できれば。メンバーもスタッフも昨年と大きく変わったため、個々の良さを引き出していけるチームになれば。JFL優勝、そしてJ3昇格をめざして今年も頑張っていきたい」



◆プロ・アマチュアゴルファー 1月28日(火)～2月5日(水)

中込憲プロ「試合に近い環境、コースで練習ができてありがたい。優しい方も多くて合宿へ来るのが楽しみ。来シーズンも頑張る」

Topic 町長への表敬訪問が行われた2月4日(火)、11名のゴルファーによる地元民との交流やチャリティーとして、2月1日(土)に開催したゴルフコンペで集まった協力金が寄附されました。高山佳小里プロは、「青少年の育成のため、ゴルフ以外のことにも使ってもらえれば」と話しました。



◆高知ファイティングドッグス 2月2日(日)～2月5日(水)

定岡智秋監督「今年は新しく22名の選手が加入した。非常に期待している。優勝をめざしてしっかり鍛えていきたい」

長嶋峻佑主将「目の前の1戦1戦を必死に戦って、結果優勝につながれば。しっかりチームを作り、日本一と地域貢献を目標に頑張っていきたい」

Topic 2月5日(水)に同チームの選手2名、関係者2名が町内の4つの保育所を訪問し、大方くじら保育所では、岡本啓コーチと金城朋弥選手が園児らと交流を行いました。園児らは「うつのとなげるのが楽しかった」、「プレゼントをもらえてうれしかった」などと話し、岡本コーチと金城選手は、「子どもたちが元気に積極的にやってくれて楽しかった。野球人口も減少しているため、野球に少しでも触れる機会が増えれば。また球場にも来てくれたら嬉しい」と話しました。



「スポまち!表彰2024」に優良認定されました

スポーツ庁主催の「スポーツ・健康まちづくり」優良自治体表彰制度で、黒潮町のスポーツツーリズム事業が優良認定されました。同制度は、ほかの団体を先導する優良な「スポーツ・健康まちづくり」の取組を行う地方公共団体を表彰するとともに、広く全国へ周知する制度を創設することにより、各地のスポーツを活用した特色あるまちづくりの取組を推進することを目的としています。

〈選考員会での評価ポイント〉

黒潮町が抱える巨大地震・津波といった防災文化をまちの強みに変え、スポーツ・防災・観光によるツーリズムを展開し、自然の二面性を理解しながら、温暖な気候と豊かな自然の中でスポーツに親しむ機会を提供しようとしている。

